

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	WONDER		
○保護者評価実施期間	8年 1月 30日		～ 8年 2月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	8年 1月 30日		～ 8年 2月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ間でしっかり情報の共有ができています	会議録やLINEで毎日の共有を行い、全員参加のミーティングで振り返りと改善案を出し合い検討している	園ともより密に連携が取れるよう、引き渡しの際に積極的に情報交換が行えるといい
2	個々に合わせた支援ができています	ご要望に応じて関係機関との連携や、保護者との面談の機会を持ち積極的に支援検討や共有の機会を持っている	なかなかお会いできない保護者様もいるのでLINE等のツールを用いてご意見をもらう機会を増やしていきたい
3	研修に積極的に参加し、自己研鑽している。	強度行動障害の基礎取得者9割 実践取得者が6割超え 個々にあった手順書を利用ごとに作成している	ペアレントトレーニング等 保護者様への支援も行えるよう研修等を受けていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の空間の狭さを感じている	一つのスペースの仕切り方や、椅子、机などの位置取りを工夫し児童の活動の導線をふさがらない環境設定の工夫が不足している	スタッフ間で検討し導線確保をするよう心掛ける。また机、椅子は児童の活動に応じて場所を移し動きやすいよう各自心がける
2	地域との交流ができていない	先天的な疾患のある児童もいるため不特定多数の方々との交流はリスクが大きいと感じる	まずは同一会社内の他事業所の児童と交流する機会等を設けてみたい
3	保護者様同士での交流が少ない	保護者会の回数が少ない また、都合が合わないご家庭が多い	保護者様も参加したくなるイベントと組み合わせて開催していきたい

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 WONDER

公表日 8 年 2 月 15 日

利用児童数 13名

回収数 11

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	81.80%	18.20%				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	90.90%			9.10%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	90.90%	9.10%			もう少し遊ぶスペースや療育できるスペースが広げればと思った	スペースの拡張は難しいため空間の使い方などで児童に狭さを感じさせない支援を行うよう努める
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90.90%		9.10%			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90.90%	9.10%				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90.90%			9.10%		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	45.50%	9.10%		45.50%		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	90.90%	9.10%				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	72.70%	9.10%		18.20%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	45.50%	18.20%		36.40%	子供同士、保護者同士で参加できるイベント等あればと思う	保護者会については参加率が低い実施できていない状況イベント内容などを精査し実施の実現に努める
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	90.90%	9.10%				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	100%					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90.90%			9.10%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	63.60%	9.10%		27.30%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	90.90%	9.10%				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	90.90%	9.10%				
	29	事業所の支援に満足していますか。	90.90%			9.10%		

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		WONDER					公表日	8年2月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	技能訓練室、面談室などの半個室を使用し児童のスペースが取れるようにしている	全員がブレイルームに集結するとき、スペース確保が困難な場合がある			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	37.50%	62.50%	仕事内容をどのスタッフも行えるようにすることで、人数が少ない時でも見守れる体制を整える				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	バリアフリー化は難しいためご見学時にその旨は保護者にお伝え				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	87.50%	12.50%	踏み台等を使用しどの年齢のお子様でも活動できるように工夫している				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		子供の活動に合わせて個室などを使い分けている				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	87.50%	12.50%	ミーティングを通じて振り返っている				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87.50%	12.50%	都度内容を共有しミーティング時に再度確認している				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87.50%	12.50%	全員参加のミーティングで、児童対応についての悩みや意見交換を行っている				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	他事業所の方が見学やヘルプに来られた際は意見をもとに改善できることがないか意見交換している				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	87.50%	12.50%	OJT研修、ハラスメント研修など法人内での研修に参加している				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	87.50%	12.50%	HPIに公表している				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		ここに合わせた支援計画を作成し、支援検討会議で支援内容を精査している				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	87.50%	12.50%	どのスタッフも子供の利益を考え支援を提案してくれている				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	87.50%	12.50%	個々の療育ファイルにわかりやすく記載がある				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	アセスメント以外にもリトムやLINE、申し送りなどを活用し状況確認をしている				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		個別支援計画作成時にスタッフが意見を出し合い具体的な支援計画の作成を行っている				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	87.50%	12.50%	プログラムの基盤は、知識・経験に富んだスタッフをはじめとして全員が納得したうえで決定している				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	87.50%	12.50%	利用回数を考慮しつつ支援計画の達成に向けてプログラムを設定している				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		どちらも計画書に含まれている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	62.50%	37.50%	支援前に分担を決定して、各自支援内容について気になるところがあれば児発管に確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	62.50%	37.50%	振り返りや気づいた点はその都度LINEなどで共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	87.50%	12.50%	LINE、リトム、申し送りなどに記録し、会議で検討している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的なモニタリングを行い、見直しもやっている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		サービス担当者会議、関係機関連携に児発管、児童指導員が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	関係機関連携加算を使用し支援体制を整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	62.50%	37.50%	ご要望のある保護者様の園については、定期的に会議を開催し支援内容の情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	基本的には保護者様を介してお伝えをお願いしているが必要に応じて直接連絡を取り合っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	25%	75%	必要に応じて連絡し、助言をいただいている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%		現在外出支援等の実施を控えているため行っていない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		お送りの際に本日の様子を必ずお伝えしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	実施している同一法人内の事業所に資料提供してもらい実施できないか検討中	ご家族が参加する研修は積極的に実施できていない	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		ご契約時に説明している		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		連絡帳等のツールを使用しご家族の意向を把握している		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		LINEで確認していただき同意したうえで、ご利用時にサインをいただいている		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		ご家族様からご要望があれば面談の時間を設定し助言・支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	保護者会はご都合のつかないご家庭が多いため内容の見直しを行っている	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		相談や申し入れがあった際の流れはご契約時に説明しておりその流れに沿って迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		SNS発信を積極的に行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人ファイルは見えない棚に収納されている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		様々なツールを使い意思疎通が取れる工夫がある	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	37.50%	62.50%	ご要望があれば設定することがある	基本的には、疾患のある児童もいるため外部の人はお断りしている
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	87.50%	12.50%	各マニュアルが作成されている
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	87.50%	12.50%	BCP研修に参加している	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	87.50%	12.50%	ご見学時のアセスメントを取る際に確認している	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	87.50%	12.50%	ご見学時のアセスメントを取る際に確認している	医師からの指示書はもらっていない
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	87.50%	12.50%	安全計画委員会にて研修訓練が行われている	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		垂直避難・水平避難の避難場所についてご契約時に説明している	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	87.50%	12.50%	ヒヤリハット報告書等を用いて共有検討している	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	87.50%	12.50%	虐待防止委員会より定期的な研修が行われ、チェックリストで定期的な自己評価を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	62.50%	37.50%	契約時に説明し同意書にサインをいただいている		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	WONDER		
○保護者評価実施期間	8年 1月 30日		～ 8年 2月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	8年 1月 30日		～ 8年 2月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ間でしっかり情報の共有ができています	会議録やLINEで毎日の共有を行い、全員参加のミーティングで振り返りと改善案を出し合い検討している	学校ともより密に連携が取れるよう、引き渡しの際に積極的に情報交換が行えるといい
2	個々に合わせた支援ができています	ご要望に応じて関係機関との連携や、保護者との面談の機会を持ち積極的に支援検討や共有の機会を持っている	なかなかお会いできない保護者様もいるのでLINE等のツールを用いてご意見をもらう機会を増やしていきたい
3	研修に積極的に参加し、自己研鑽している。	強度行動障害の基礎取得者9割 実践取得者が6割超え 個々にあった手順書を利用ごとに作成している	ペアレントトレーニング等 保護者様への支援も行えるよう研修等を受けていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の空間の狭さを感じている	一つのスペースの仕切り方や、椅子、机などの位置取りを工夫し児童の活動の導線をふさがない環境設定の工夫が不足している	スタッフ間で検討し導線確保をするよう心掛ける。また机、椅子は児童の活動に応じて場所を移し動きやすいよう各自心がける
2	地域との交流ができていない	先天的な疾患のある児童もいるため不特定多数の方々との交流はリスクが大きいと感じる	まずは同一会社内の他事業所の児童と交流する機会等を設けてみたい
3	保護者様同士での交流が少ない	保護者会の回数が少ない また、都合が合わないご家庭が多い	保護者様も参加したくなるイベントと組み合わせて開催していきたい

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	WONDER
------	--------

公表日 8年 2月 15日

利用児童数 34

回収数 28

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	75%	21.40%	3.60%			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	82.10%	10.70%		7.10%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89.30%	3.60%	3.60%	3.60%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	89.30%	10.70%				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	85.70%	10.70%		3.60%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	85.70%	7.10%		7.10%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	85.70%	10.70%		3.60%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	89.30%	7.10%		3.60%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92.90%	3.60%		3.60%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96.40%	3.60%				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	21.40%	10.70%	28.60%	39.30%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96.40%	3.60%				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96.40%			3.60%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42.90%	21.40%	7.10%	28.60%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	92.90%	7.10%				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	89.30%	3.60%		7.10%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	92.90%			7.10%		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	21.40%	21.40%	21.40%	35.70%			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	82.10%	7.10%		10.70%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	89.30%	7.10%		3.60%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35.70%	10.70%		3.60%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	89.30%	7.10%		3.60%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75%	7.10%		17.90%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	71.40%	3.60%		25%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89.30%	3.60%		7.10%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	82.10%	10.70%		7.10%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	92.90%	7.10%				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	75%	21.40%		3.60%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	82.10%	17.90%			とてもよくしてもらってます	

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		WONDER				公表日 8 年 2 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	技能訓練室、面談室などの半個室を使用し児童のスペースが取れるようにしている	全員がブレイルームに集結するとき、スペース確保が困難な場合がある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	37.50%	62.50%	仕事内容をどのスタッフも行えるようにすることで、人数が少ない時でも見守れる体制を整える		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	62.50%	37.50%	バリアフリー化は難しいためご見学時にその旨は保護者にお伝え		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		踏み台等を使用しどの年齢のお子様でも活動できるように工夫している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		子供の活動に合わせて個室などを使い分けている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	87.50%	12.50%	ミーティングを通じて振り返っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		都度内容を共有しミーティング時に再度確認している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		全員参加のミーティングで、児童対応についての悩みや意見交換を行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	62.50%	37.50%	他事業所の方が見学やヘルプに来られた際は意見をもとに改善できないことがないか意見交換している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	62.50%	37.50%	OJT研修、ハラスメント研修など法人内での研修に参加している		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		HPIに公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		ここに合わせた支援計画を作成し、支援検討会議で支援内容を精査している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		どのスタッフも子供の利益を考え支援を提案してくれている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		個々の療育ファイルにわかりやすく記載がある		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87.50%	12.50%	アセスメント以外にもリトムやLINE、申し送りなどを活用し状況確認をしている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	87.50%	12.50%	個別支援計画作成時にスタッフが意見を出し合い具体的な支援計画の作成を行っている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	87.50%	12.50%	プログラムの基盤は、知識・経験に富んだスタッフをはじめとして全員が納得したうえで決定している		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	87.50%	12.50%	利用回数を考慮しつつ 支援計画の達成に向けてプログラムを設定し ている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放 課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		どちらも計画書に含まれている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	62.50%	37.50%	支援前に分担を決定して、各自支援内容につ いて気になるところがあれば児発管に確認し ている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	振り返りや気づいた点は その都度LINEなどで共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	87.50%	12.50%	LINE、リトム、申し送りなどに記録し、 会議で検討している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的なモニタリングを行い、 見直しも行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	100%		サービス担当者会議、関係機関連携に児発 管、児童指導員が参加している	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	87.50%	12.50%	関係機関連携加算を使用し 支援体制を整えている		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		ご要望のある保護者様の園については、 定期に会議を開催し支援内容の情報共有を 行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	基本的には保護者様を介してお伝えを お願いしているが必要に応じて直接連絡を取 り合っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	75%	25%	LINEを使用し、共有された内容はすぐに スタッフ全体が周知できるシステムになっ ている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	園・保護者様側からご依頼があれば 聞き取りを行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	50%	50%	必要であれば移行後にお電話等でお伝えして いる	基本的には保護者様を介してお伝えになっ ている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	必要に応じて連絡し、 助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	62.50%	37.50%	地域の他の子どもと活動する機会については 情報を収集し実施を検討している	現在外出支援等の実施を控えているため ほとんど行っていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	ご案内があった際は参加可能な職員がい ないか検討している	ほとんど参加できていない状況
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	100%		お送りの際に本日の様子を必ずお伝えして いる	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。	37.50%	62.50%	実施している同一法人内の 事業所に資料提供してもらい実施できないか 検討中	ご家族が参加する研修は 積極的に実施できていない
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	100%		ご契約時に説明している		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		連絡帳等のツールを使用し ご家族の意向を把握している		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		LINEで確認していただき同意したうえで、 ご利用時にサインをいただいている		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		ご家族様からご要望があれば面談の時間を設定し助言・支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	保護者会はご都合のつかないご家庭が多いため内容の見直しを行っている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		相談や申し入れがあった際の流れはご契約時に説明しておりその流れに沿って迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		SNS発信を積極的に行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人ファイルは見えない棚に収納されている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		様々なツールを使い意思疎通が取れる工夫がある	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	62.50%	37.50%	ご要望があれば設定することがある	基本的には、疾患のある児童もいるため外部の人はお断りしている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		各マニュアルが作成されている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		BCP研修に参加している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	87.50%	12.50%	ご見学時のアセスメントを取る際に確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	ご見学時のアセスメントを取る際に確認している	医師からの指示書はもらっていない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画委員会にて研修訓練が行われている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	87.50%	12.50%	垂直避難・水平避難の避難場所についてご契約時に説明している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	87.50%	12.50%	ヒヤリハット報告書等を用いて共有検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%	虐待防止委員会より定期的な研修が行われ、チェックリストで定期的な自己評価を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	契約時に説明し同意書にサインをいただいている		